

環境綱領

株式会社前田製作所は、建設機械・産業機械の製造・販売・レンタルをとおして、土木・建設業界を中心に、各種業界の機械化・省力化・安全化・廃棄物の再資源化に寄与している。

私たちは、「マエダ企業行動憲章」に基づきこれらの企業活動の各プロセスにおいて、環境にいろいろな負荷を与えていることを認識し、全社員・構成員の環境意識を高めて、環境汚染予防と省資源を図り、自然環境を保護すると共に、環境に有益な影響を与える製品の開発並びに環境関連商品の販売・レンタル事業をとおして、地球環境保全に貢献する企業を目指す。以上の目的を達成するために、中期的に以下の項目に取り組む。

記

1. 事業活動全般について、環境パフォーマンスを向上させるため環境マネジメントシステムによる継続的改善を推進し、環境負荷の低減を図る。
2. 環境関連の法規、規制、業界やその他の基準を順守する。
3. 地球温暖化防止のために、CO₂排出量の削減及び使用資源・使用エネルギーの削減に努める。
4. 地球環境保全のため、環境に有益な影響を与える事業活動を推進する。
5. 新規事業、新商品・製品開発の過程において、人と環境の調和を最優先する。
6. 環境への取り組み内容や成果をCSR報告書などを通じて、ステークホルダーに公表し、相互理解を深める。

2017年度環境方針

私たちのあらゆる社会・経済活動は、温室効果ガスの排出と関わりがあります。このため、地球温暖化対策の推進にあたっては、温室効果ガスの排出を自分ごととして捉え、その削減に向けた取組を積極的に行っていく必要があります。

一度環境問題が発生すれば、それに伴う被害や対策コストが非常に大きくなる可能性や、深刻な影響をもたらす可能性があります。

そこで、2017年度は、予防的な取組を通じ私たち一人ひとりが自主的な行動を実践して、更なるCO₂の削減や環境負荷の低減を推進していきます。

記

1. 全ての業務プロセスにおいて、環境に様々な負荷を与えていることを認識し、環境負荷の低減を図る。
2. EMSにおける内部監査員のレベルアップにより、内部監査の質の向上を図る。
3. 方針展開から本来業務の環境側面を捉え、マネジメントシステムの統合を推進する。

2017年 4月 1日

株式会社 前田製作所

代表取締役社長

塩入 正章